

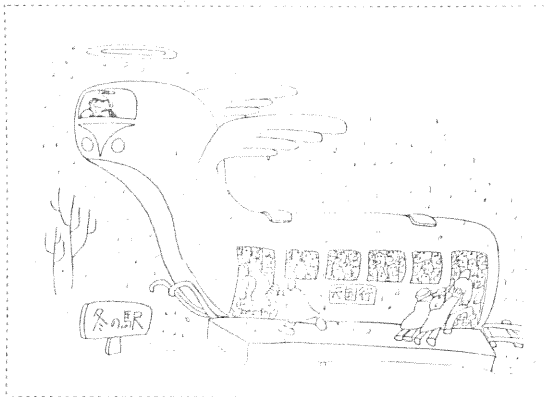
季節	病名	脳卒中	心臓病	癌	老衰	その他
春夏 秋冬	18%	18%	23%	19%	20%	
	20	20	22	24	16	
	22	27	23	25	14	
	40	45	32	33	40	



故死、肺炎、気管支炎、結核、高血圧、自殺、新生児などとなっている

風邪は冬に、陽炎は夏といったように、病気には季節季節の特徴がある。しかし文明が進むにつれ、病気も昔の一定の流行期にかぎらず、種々の変化をもたらした。例えば、赤痢が昭和二十五年頃まで、七月―八月に多かったが、三十五年以後から、一月―五月に多くなって、夏にへつてきている。最近の死因の順位をみると、脳卒中、心臓病、老衰、事故死、肺炎、気管支炎、結核、高血圧、自殺、新生児などとなっている

墓場は冬忙しい



そのための動物性蛋白質をひかえ、植物性蛋白質や、脂肪性蛋白質をとることである。東北地方の高血圧、脳卒中の多い地方でも、リ

最近冬にふえつつある。夏の暑い時は、汗をかき、疲労も強く感ずるので、各人が健康に注意して、ビタミン剤、栄養剤などをとるのに一生懸命であるが、秋から冬にかけては、さほど気にしないが、冬は厚衣のため、体表温度が高くなり、基礎代謝もさか

高血圧症や老人は、あたたかいところから急に寒いところになるときは、注意をしなければならぬ。また赤ちゃんの場合、体温の調節が十分でないので、室温に感ずるよう着物を調節し、なるべくうす着にして、外出の時は、風の通らない上着で包むようにしたい。ことに人ごみの中では、病気の感染の機会が多いので、赤ちゃんはつれてゆくことはやめなくてはならない。また昼にはうす着にして、適度の日光浴も忘れてはならない。日本の家はすきまが多く、室内の温度を一定に保つことはむづかしいが、室内は十六度―二十度、寝室は十二度―十四度位の温度を保ちたいものである。また熱い長風呂にはいることは、上記の患者は危険であり、老人は四十度位のお湯に、ゆっくりはいるように心がけたい。高血圧症、心臓病、老人などは、精神的のいらや、睡眠不足、過労などの障害から解放されるよう、とくに本年は、気候が不順であり、寒さがきびしいといわれるので、日常生活に注意して、寒い冬を無事にすごされるようおすすめる次第である。(調理)

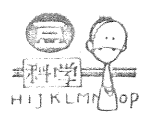
れ、病気をみてもトップであるが特に卒中、心臓病等は、春の二倍以上となつてきている。冬の季節病といわれた肺炎、気管支炎、流感、心臓病、脳卒中、老衰等は依然として冬に多いが、腸炎、チブス、赤痢、脚気など夏に流行した病気が

んで、エネルギーの消耗もはげしい。冬こそ栄養剤、ビタミン剤、果物野菜などを多量に摂取することが大切である。高血圧、脳溢血、心臓病患者は、白米の過食、食塩のとりすぎ、ビタミンB、Cの不足が症状を悪化させ原因となる

そのために動物性蛋白質をひかえ、植物性蛋白質や、脂肪性蛋白質をとることである。東北地方の高血圧、脳卒中の多い地方でも、リ

高血圧症や老人は、あたたかいところから急に寒いところになるときは、注意をしなければならぬ。また赤ちゃんの場合、体温の調節が十分でないので、室温に感ずるよう着物を調節し、なるべくうす着にして、外出の時は、風の通らない上着で包むようにしたい。ことに人ごみの中では、病気の感染の機会が多いので、赤ちゃんはつれてゆくことはやめなくてはならない。また昼にはうす着にして、適度の日光浴も忘れてはならない。日本の家はすきまが多く、室内の温度を一定に保つことはむづかしいが、室内は十六度―二十度、寝室は十二度―十四度位の温度を保ちたいものである。また熱い長風呂にはいることは、上記の患者は危険であり、老人は四十度位のお湯に、ゆっくりはいるように心がけたい。高血圧症、心臓病、老人などは、精神的のいらや、睡眠不足、過労などの障害から解放されるよう、とくに本年は、気候が不順であり、寒さがきびしいといわれるので、日常生活に注意して、寒い冬を無事にすごされるようおすすめる次第である。(調理)

よみましょ・みましょ



今や建築ブームの感がある。赤く塗った鉄骨建築、木の香もにおう木造建築、或はコンクリートの

鋼材

大きく二階建てはほとんどは、C型鋼より大分強く使われている。最近では八幡のスタンフレイム、川鉄のテーパースチールなどホルルトで締付けたらすぐ使えるように最初から完成品として売られているものがある。床板の代りにV型デッキプレート、キーストンプレートなど波型の広い鋼板が広く使用されている。これらの鋼材による建築は木造に比べて安くつくので、最近では広く使われるようになった。これも鉄の生産量が日本は世界第三位だからである。

鉄窓（ロケット）